

高圧ガス取扱ガイドブック  
 液化アンモニア編 新版  
 (平成 16 年 2 月 27 日 発行)  
 (特定高圧ガス取扱主任者講習用テキスト)

## 正 誤 表

平成 16 年 6 月

次の箇所を訂正のうえご使用下さい。

《 一般基礎知識編 》

頁	行など	修正する語または文章など(誤)	修正後の語または文章など(正)
7	下から10行目 <例題4>の <解>	□・( )面積 1 m <sup>2</sup> に 1 N の力が作用するときの圧力が 1 Pa である。	□・( x )面積 1 m <sup>2</sup> に 1 N の力が作用するときの圧力が 1 Pa である。 (口をxにする)
7	下から7行目 <例題4>の <解>	答 □、八、二	答 八、二 (口を削除)
46	下から3行目	・・・に刻印し、また標章に・・・	・・・に刻印するか、または標章に・・・
78	上から2行目	・・・対極、電解極および・・・	・・・対極、電解液および・・・

《 液化アンモニア編 》

頁	行など	修正する語または文章など(誤)	修正後の語または文章など(正)
30	上から21行目	・・・において約 2.65 MPa (ゲージ) ・・・	・・・において約 2.3 MPa (ゲージ)・ ・・・
31	上から19行目 ~22行目	(14) 高圧ガス設備は、常用の圧力の2倍以上の圧力で降伏を起こさないような肉厚を有するものであり、または高圧ガス設備の製造技術、検査技術などの状況により製造することが適切であると経済産業大臣の認める者が製造した常用の圧力に必ず十分な強度を有するものであること。	(14) 高圧ガス設備は、常用の圧力または常用の温度において発生する最大の応力に対し十分な強度を有するものであり、または経済産業大臣の認める者が製造した常用の圧力などに必ず十分な強度を有するものなどであること。